

あいりん地域まちづくり会議 第9回福利・にぎわい検討会議 要旨（案）

1 日 時 令和4年11月2日（水） 午後7時から午後9時

2 場 所 西成区役所 4階会議室

3 出席者

（有識者）

寺川近畿大学准教授、水内大阪公立大学客員教授、松村阪南大学教授、
福原大阪市立大学名誉教授、永橋立命館大学教授、白波瀬関西学院大学教授、
村上大阪大学大学院教授、垣田大阪公立大学大学院教授、

（行政関係者）

【福祉局】舟橋自立支援課長、野口自立支援課長代理

【事務局（西成区）】長谷川まちづくり推進担当課長、柏木総合企画課長、
大場生活援助担当課長、阪本分館担当課長、今田まちづくり支援担当課長代理、
狩谷企画調整担当課長代理、他3名

（地域メンバー） 12名

4 概要

（1）市内部での議論・調整結果の共有

- ・第4回あいりん総合センター跡地等利用検討PT会議（R4.6.22）の要旨を用いて、市内部における議論状況等を報告した。

（2）あいりん地域に存する市施設との連携・集約化

- ・「ワンストップ相談窓口」機能等に関連して、大阪市立西成市民館・西成区保健福祉センター分館が有する機能との連携・集約化にかかる概要説明を行った。
- ・その上で、事務局から、福利・にぎわい検討会議で検討していくことを提案したところ、委員の1人から「主として就労や福祉分野に関する議論を行うのであるから、そのような分野に精通したメンバーによって構成されているエリマネ就労福祉・健康専門部会で実施する方が良いのではないか。」との提案があった。
- ・この委員からの提案に対して、他の委員からは異論がなかったため、今後は、エリマネジメント協議会の就労福祉・健康専門部会で詳細を検討していくこととする。

（3）第1回 防災機能、多目的広場に関するワークショップについて

- ・4つの機能の枠外であった「防災」と「多目的広場」の機能について、ワークショップ方式で意見聴取を行った。

(4) 受託事業者におけるヒアリング調査の実施について

- ・受託事業者が民間事業者に対して行うヒアリング調査の概要説明を行った。

【参考】次回以降の「福利・にぎわい検討会議」の議題について（案）

- ①：防災機能・多目的広場ワークショップのとりまとめ
- ②：受託事業者によるヒアリング調査の結果報告
- ③：福利に関する4つの機能の掘り下げ
- ④：あいりん地域に存する市施設との連携・集約化（エリマネ議論の報告）
- ⑤：にぎわいに関する検討 など